

(別表第4)

第三セクター情報公開資料

1 第三セクター名称等									
	名称	株式会社 大内町交流センター			電話番号	0184-62-1126			
	所在地	秋田県由利本荘市岩谷町字西越36番地			FAX番号	0184-62-1125			
	設立年月日	平成11年5月28日			HPアドレス	http://www.popolocco.com/			
2 資本金		86,400千円	市出資金	44,000千円	市出資割合	50.9 %			
3 事業内容		1. 道の駅「おおうち」関連施設の管理運営(大内総合交流ターミナル・温泉宿泊施設「ぼぼろっこ」(温泉宿泊、売店、レストラン)、大内多目的広場(グラウンドゴルフ)、大内交流広場、大内地場産業振興施設 2. 道の駅「おおうち」に係る受託事業(駐車場、トイレ、休憩施設等の維持管理) 3. 上記に関する一切の事業							
4 財務状況(令和2年3月31日現在)									
貸借対照表から	項 目	金 額 (千円) 税抜			損益計算書から	項 目	金 額 (千円) 税抜		
		前々年度	前年度	本年度			前々年度	前年度	本年度
	総資産	86,998	66,567	50,397		総収入(売上高+営業外収益+特別利益)	238,080	221,755	223,955
	負債	23,442	16,997	14,404		(内市からの補助金・指定管理料)	20,477	20,477	20,663
	(有利子負債)	0	0	0		経常利益	△ 3,521	△ 13,802	△ 13,194
	純資産	63,556	49,570	35,993		当期純利益	△ 3,705	△ 13,986	△ 13,378
	利益剰余金	△ 21,494	△ 35,480	△ 48,857		減価償却前当期利益	827	△ 11,084	△ 10,242
5 役職員の状況(令和2年3月31日現在)									
取締役数(うち市出向者・退職者)			6 (退0)	正職員数(うち市出向者・退職者)			18 (退 0)		
6 第三セクターへの関与の状況(単位:千円 税込み)									
(1) 公的支援(令和2年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度	備考(目的、内容、算出根拠等)				
①補助金(助成金)		0	0	0					
②利子補給		0	0	0					
③税の減免額		0	0	0					
④その他		0	0	0					
小 計		0	0	0					
⑤損失補償契約に伴う金利軽減額		0	0	0					
⑥出資金、低金利貸付等に伴う機会費用		0	0	0					
小 計		0	0	0					
合 計		0	0	0					
【参考】指定管理料(税込)		22,115	22,115	22,525	道の駅周辺施設・地場産業振興施設				
(2) その他(令和2年3月31日現在)									
項 目		前々年度	前年度	本年度					
①損失保証契約に係る債務残高		0	0	0					
②貸付金残高		0	0	0					
③出資金(増資等)		0	0	0					
合 計		0	0	0					
7 添付資料 貸借対照表、損益計算書									

※本資料は、第21期決算報告書(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)に基づいて作成したものである。

決 算 報 告 書

(第 2 1 期)

自 平成 3 1 年 4 月 1 日

至 令和 2 年 3 月 3 1 日

株式会社 大内町交流センター

由利本荘市岩谷町字西越 3 6 番地

0 1 8 4 - 6 2 - 1 1 2 6

議案第1号 第21期（平成31年4月1日から令和2年3月31日まで）
事業報告書

第21期事業報告書

令和元年度は、年明け1月より世界中で新型コロナウイルスの感染が拡大し始めました。世界中に大変な混乱をもたらす現在に至っております。日本国内においても同様に2月以降感染が拡大し始めました。東京オリンピックの延期、入国禁止措置によるインバウンドの激減、営業自粛要請など経済に多大な影響を及ぼし、先が見えない状況が続いております。

弊社の経営につきましては、12月までは赤字の縮小に向けて順調に推移しておりましたが、年明けよりコロナウイルスの影響で売上が減少し始めました。2月後半には緊急事態宣言が発令され、それまでに入っていた宿泊、宴会がほとんどキャンセルになり、大きな打撃を受けました。利用者総数が205,801名売上総額195,585千円となり、昨年度より2,467名、1,470千円の減少となりました。また、農産物直売所ひまわりと併せた館内利用者数は364,000人余りとなりました。

部門別に前年度と比較しますと、宿泊部門で651千円の減となりましたが、宴会部門では450千円、レストラン部門では1,645千円の売上増となりました。

経費面では、最低賃金の引き上げなどもありましたが、ほぼ昨年同様に抑えることができました。減価償却費3,136千円、法人税184千円を計上し、当期純損失13,377千円のマイナス決算となりましたことをご報告申し上げます。

令和元年度は、キャッシュレス決済の導入による利便性の向上、宿泊部門のネット販売による販路の拡大などを行いましたが、コロナウイルスの影響を大きく受ける形となってしまいました。また、消費税増税によるハードウェアの更新や受動喫煙法改正に伴う喫煙室の設置など、いち早く法令改正に対応いたしました。

来る第22期につきましては、6月1日より入浴料金を改定させていただきます。また、仕出し折膳の販売と、レストランテイクアウトメニューの販売を開始し、売上増に繋げてまいります。コロナウイルスの影響を受けながらの新年度スタートとなりますが、全社員一丸となってこの状況を乗り越える努力をまいります。株主の皆様には今後とも尚一層のご指導、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

株式会社大内町交流センター

貸 借 対 照 表

令和2年3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【 流 動 資 産 】	43,924,821	【 流 動 負 債 】	11,413,068
現 金	966,766	買 掛 金	2,215,664
預 金	37,360,832	未 払 金	6,094,654
売 掛 金	1,013,768	前 受 金	4,000
商 品	366,264	預 り 金	41,250
食 料 原 料	1,292,284	法 人 税 等 充 当 金	184,000
飲 料 原 料	389,513	未 払 消 費 税 等	2,873,500
貯 蔵 品	1,666,314	【 固 定 負 債 】	2,991,474
仮 払 金	466,078	リ ー ス 負 債	2,991,474
未 収 入 金	403,002	負 債 合 計	14,404,542
		純 資 産 の 部	
【 固 定 資 産 】	6,472,525	【 株 主 資 本 】	35,992,804
(有形固定資産)	6,196,525	資 本 金	86,400,000
建 物	1	(資本剰余金)	200,000
建 物 付 属 設 備	1,267,192	自己株式処分差益	200,000
工 具 器 具 備 品	410,898	(利益剰余金)	△ 48,857,196
リ ー ス 資 産	4,348,700	繰越利益剰余金	△ 48,857,196
一 括 償 却 資 産	169,734		
(無形固定資産)	216,000	自 己 株 式	△ 1,750,000
電 話 加 入 権	216,000		
(投資その他の資産)	60,000		
差 入 保 証 金	50,000		
出 資 金	10,000	純 資 産 合 計	35,992,804
資 産 合 計	50,397,346	負債 ・ 純資産合計	50,397,346

株式会社大内町交流センター

損 益 計 算 書

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

(単位：円)

科 目	金 額	
【 売 上 高 】		
売 上 高	195,585,573	195,585,573
【 売 上 原 価 】		
期 首 棚 卸 高	1,666,538	
仕 入 高	60,735,015	
合 計	62,401,553	
期 末 棚 卸 高	2,048,061	60,353,492
売 上 総 利 益 金 額		135,232,081
【販売費及び一般管理費】		176,795,305
営 業 損 失 金 額		41,563,224
【 営 業 外 収 益 】		
受 取 利 息	4,244	
指 定 管 理 収 入	20,663,004	
施 設 管 理 収 入	5,542,554	
そ の 他 委 託 収 入	2,033,430	
雑 収 入	126,389	28,369,621
経 常 損 失 金 額		13,193,603
税引前当期純損失金額		13,193,603
都道府県民税及び市町村民税		184,000
当 期 純 損 失 金 額		13,377,603